

2 各種教育計画等への反映

各中学校区において、研究してきた内容を資料として蓄積したり、各学校の年間指導計画等へ反映をしたりして、教職員間で共通理解を図ります。

例1) 指導改善を年間指導計画等に位置付ける

指導改善

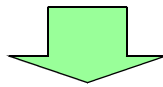
○学力調査等の合同分析を踏まえた指導の改善

「全国学力・学習状況調査」や県の学力調査の結果を小中合同で分析する取組が広がっています。例えば、小6や中3で正答率の低い問題を洗い出し、当該問題を正答するために、下学年のどのような学習内容が定着していないといけないのかを分析し、授業改善・補充指導の在り方について検討する会議を行うことが考えられます。

＜具体的な取組＞

- ・各学年で必要な学力がどの程度定着しているかを確認する調査を行い、課題の大きかった学年の練習問題を、それ以降の学年に配付し復習問題として活用する。
- ・小学校と中学校の教員が、指導に関して合同で研修を行う。

(『小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引き』 H28.12.26 文部科学省 より抜粋)



年間指導計画等への位置付け

- ・年間指導計画等へ記入する。(単元計画に、復習する時期を記入しておくなど。)
- ・部会等で指導法について共通理解したことを可視化し、日々の授業で活用できるようにする。

例2) 中学校区の「目指す子ども像」を、総合的な学習の時間の全体計画に位置付ける

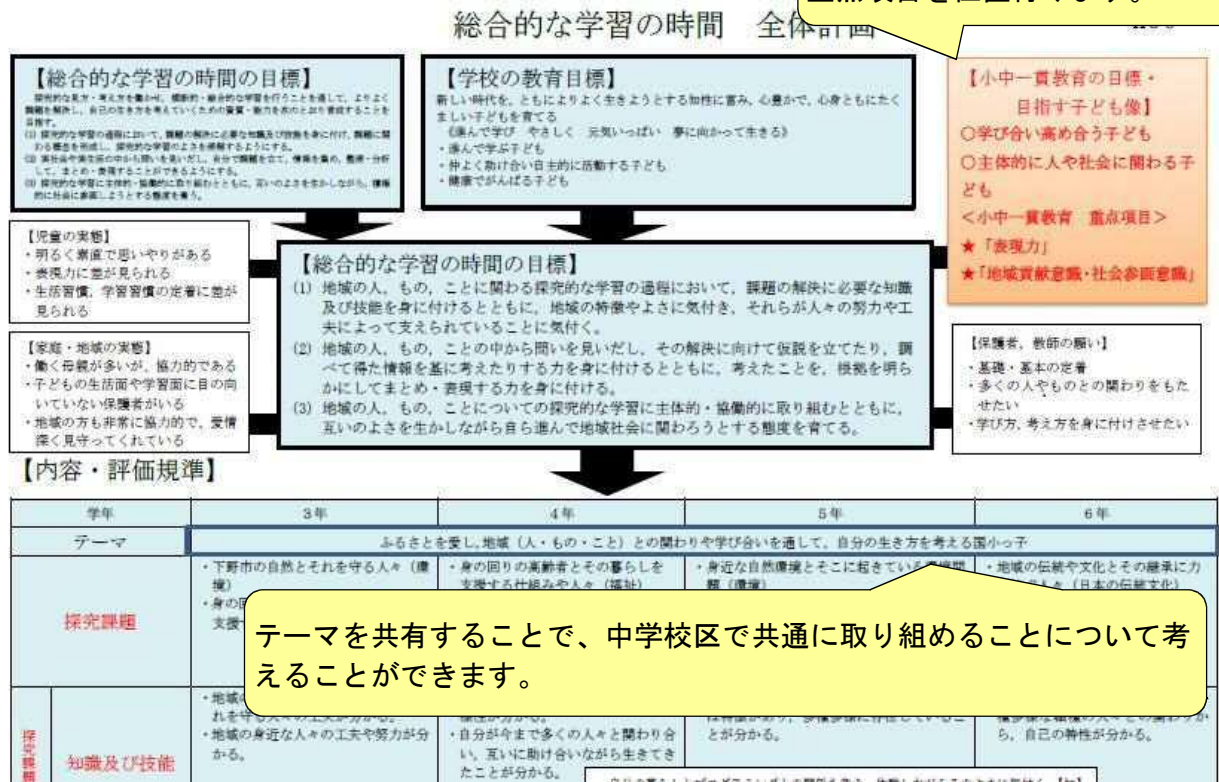
○各中学校区で設定した目指す子ども像を全体計画に位置付け、各学校で定める目標の達成を目指し、「探究課題」や「育成を目指す具体的な資質・能力」を設定します。

※各部会の取組を可視化することで、校内で共有しやすくなり、先生方からの新たなアイデアも出やすくなります。



＜総合的な学習の時間 全体計画への位置付け（例）＞

中学校区の「目指す子ども像」、重点項目を位置付けます。



テーマを共有することで、中学校区で共通に取り組めることについて考えることができます。

上記の重点項目に関連する観点（★「表現力」 ★「地域貢献意識・社会参画意識」）および評価規準について可視化します。

思考力・判断力・問題解決力	表現力	学習力	地域貢献意識・社会参画意識
<p>情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。</p> <p>自分の関心から課題を設定し、解決方法を考え、追究している。</p> <p>教師の支援により手段を選択し、情報を収集している。</p> <p>問題状況における事実や関係を、事実を比較したり分類したりして理解し、多様な情報の中にある意義を見つけている。</p>	<p>★相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>学習したことを振り返り、生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。</p>
<p>情報を比較・分類し、整理した情報を関連付けて理解し、多様な情報の中にある意義を見つけている。</p> <p>人々の思いをふまえて、生活や手帳を考え、見直しをもって追究している。</p> <p>自分なりの手段を選択し、情報を収集している。</p> <p>問題状況における事実や関係を、整理した情報を関連付けて理解し、多様な情報の中にある意義を見つけている。</p>	<p>★相手や目的、意図に応じてわかりやすくまとめ、方法を工夫して表現している。</p>	<p>学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々との関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとしている。</p>
<p>課題設定力</p> <p>情報収集力</p> <p>整理・分析力</p> <p>表現力</p> <p>省察力</p>	<p>★相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>学習したことを振り返り、生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々との関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとしている。</p>
<p>主体性・協働性</p> <p>自己理解・他者理解</p> <p>地域貢献意識・社会参画意識</p>	<p>★相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々との関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとしている。</p>
<p>課題解決に向けて、探究活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>課題解決に向けて、身近な人と協働して探究活動に取り組んでいる。</p> <p>自分のよさや自分のできることに気づき、課題解決に向けて取り組んでいる。</p> <p>自分と異なる意見や考えを知り、探究活動に取り組もうとしている。</p>	<p>★相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々との関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとしている。</p>
<p>課題解決に向けて、探究活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組んでいる。</p> <p>自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組んでいる。</p> <p>異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組もうとしている。</p>	<p>★相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々との関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとしている。</p>
<p>自分と異なる意見や考えを知り、探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組んでいる。</p> <p>異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組もうとしている。</p>	<p>★相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。</p>	<p>★自分と地域の人々との関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとしている。</p>

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場を設定する。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う（カリキュラム・マネジメント）。 ・言語により整理・分析したり、まとめ・表現したりする学習を重視する。 ・協働的な学習を充実させるため、思考 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制を組織する。 ・職員研修における校内の共通理解を図る。 ・学校図書館の整備・充実を図る。 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。 	<p>【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・
---	--	---	---

重点項目に関連した指導方法や評価方法等を共有し、到達目標（具体的な子どもの姿）についても確認していくことが大切です。

3 成果や変容の把握

市教育委員会では、小中一貫教育の方針（P5）に基づいて成果指標を掲げ、変容を確認しています。

	方針との関連	評価項目 (全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙より)	2023年 成果指標	
			小学校	中学校
1	①②	自分にはよいところがあると思いますか。	90%	90%
2	①②	将来の夢や目標を持っていますか。	90%	90%
3	②	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100%	100%
4	①	国語の勉強は好きですか	70%	70%
5	①	算数の勉強は好きですか。	70%	70%
6	①②	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができていると思いますか。	90%	90%
7	③	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	80%	70%
8	③	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	60%	60%

※各部会での成果や課題を確認するためにも、アンケート調査等も利用しながら、子どもたちの変容を確認しながら進めましょう。



また、先生方へも毎年アンケート調査を行っています。

○異校種間（小・中学校）で授業を参観した。（はい・いいえ）
○（T1・T2として）乗り入れ授業を実施した。（はい・いいえ）
＜点数法＞4（十分当てはまる）3（当てはまる）2（やや不十分）1（不十分）
○中学校区内で設定した実践研究課題について、共通理解を図り、実践することができた。
○小中一貫の日に実施した内容や取組について、各校において共通理解を図ることができた。
○小・中学校の教職員間で互いのよさを取り入れる意識が高まったと感じる。
○教職員同士の交流を通して、児童生徒についての理解が深まったと感じる。
○（自分の所属している部会では）今後更に小中一貫教育を推進していくための計画や見通しがある。
○小・中学校の交流活動や子ども未来プロジェクトを通して、児童生徒の思いやりやあこがれの気持ちを育むことができたと感じる。
○保護者や地域の方々は、中学校区で進めている小中一貫教育について理解していると感じる。



※各中学校区で取り組んだ内容や成果などを市全体でも共有できるよう、定期的に発表の機会を設けています。

4 第Ⅳ期 小中一貫教育推進期（令和4年度～7年度）

○ 令和4年度から令和7年度は、**第Ⅳ期小中一貫教育推進期**といたします。
これまで取り組んできた成果や課題を確認するとともに、他地区との情報共有や連携も視野に入れながら、中学校区ごとに、更なる推進をお願いします。

小中一貫教育の具体（参考資料3）には、各中学校区で進めている（これから進める）具体的な取組を掲載してあります。毎年、年度始めに教職員全体で確認しましょう。また、年度の終わりには**小中一貫教育プロジェクト委員会等を中心に振り返り評価**をし、次年度へつなぎましょう。

○保護者や地域の方々からの協力を得ながら小中一貫教育を進めていくためにも、各中学校区の取組について、説明をしたり**情報を発信**したりしていただくことが大切です。今後も、年度始めには、中学校区ごとの組織体制や取組状況について発信したり、ホームページ等を更新したりするなどして、地域の方々と情報を共有していきましょう。

<グランドデザインへの記載内容例>

- 中学校区における「目指す子ども像」
- 4-3-2の区切りに基づいた到達目標
- 推進体制（設置部会等）
- 取組の具体
- 中学校区を構成する学校
- 児童生徒や地域の様子

